

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	農漁業6次産業化推進事業		担当部署	経済建設部 農林水産課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	6次産業化法 鳴門市農漁業六次産業化推進支援事業実施要領	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="24"/> 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		農林水産業			
施策	3	農業の振興			
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 本市で農業・漁業を行う者、関係団体・法人等														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	生産者・生産者団体、関係機関等が生産・加工・流通・販売振興に連携して取り組み、付加価値の向上による生産者所得の確保を図る。また、産業間の有機的連携を深めることで本市産業の底上げを図る。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	①ブランド化や付加価値の創出に向けたトップセールスを実施する。②さらに、市内において生産者・農協・漁協が主体となった直売等の推進や、本市農水産物を活用する意向のある事業者等と生産者・生産者団体との結び付けを支援し、新たな商品開発による産業の底上げを図る。③6次産業化サポートセンター等の関係機関とも連携し、制度の周知や生産者の取り組みを推進するとともに、要望をとりまとめ補助事業の可能性や取り組みについて支援を図る。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産者等の自主的取り組み数</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	生産者等の自主的取り組み数	10	10	10	10	10	件
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
生産者等の自主的取り組み数	10	10	10	10	10	件										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①関西圏のイベント(神戸市場まつり)及び関東圏の大手量販店に生産者、商工事業者、観光協会等と連携し、本市農水産物及び加工品等のPR・キャンペーンに取り組んだ。また、東京で実施された鳴門フェアにおいて、本市特産物のPR用の資料を提供した。 ②農漁業6次産業化推進支援事業により、レンコンを活用した新商品の開発を支援した。 ③JA大津松茂が進めている産直施設建設のための基礎調査に対し、支援を行った。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	6次産業化に関する相談会等回数	1	1	1	1	回
	2	取り組み事業数	2	2	9	9	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	生産者等の自主的取り組み数		3	3	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)			30.0	-	-	-
今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成29年度	当初予算額	750	0	0	0	0	3,235	3,985
		補正予算額	0	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	750	0	0	0	0	3,235	3,985
		決算額	750	0	0	0	0	1,435	2,185
		繰越額	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.2	0.0	1,447	3,632				

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	1,172	2,185	1,225	1,225	1,225
	うち一般財源	1,172	1,435	1,225	1,225	1,225
	人件費	1,427	1,447	1,427	1,427	1,427
	総事業費	2,599	3,632	2,652	2,652	2,652

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		消費地におけるPRは、6次産業化を目指した取り組みを支援するために効果的な施策である。
	効率性	A:効率的だった		生産者、生産者団体、事業者、県等が主体的に実施する関連事業等との調整は必要。
②成果に対する評価	指標名	生産者等の自主的取り組み数		消費地でのセールスやPR活動を3回実施するとともに、新商品の開発への支援を1件、また、新たな産直施設建設に向けた支援1件を実施したが、六次産業化法による計画認定を目指す新たな生産者等については従前の3件にとどまった。
	目標	10	件	
	実績	3	件	
	評価	D:目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		六次産業化法による計画の認定数が目標数には到達しなかったことから、B評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業及び補助事業の継続には、一定の財源確保が必要となる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスに取り組む。 ・農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取り組みを支援する ・JA大津松茂が進めている産直施設建設に向けた支援を実施する。 			
	H31年度	<ul style="list-style-type: none"> ・農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスに取り組む。 ・農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取り組みを支援する 			